

定例会広報紙

# 議会だより

令和7年6月定例会 ●会期／6月4日～10日

## 長年持ちこたえたリフトの功績と土砂崩れ！



# ハートツピ エアートツピ リフト廃止へ

現場視察

新しい運用方法はないのか！

### すごい土砂崩落！議員あぜん。

町道立木ブナ峠線災害復旧予算  
まずは測量設計5,000万円

### ファミリーサポートセンター 拡充支援は？

会員増加に向けての取り組みは。

シリーズ議員の思い。一般質問  
和田一則議員・青木裕子議員



今後、条例を制定し任意給付を  
実施する考えはないか？

### 国保加入者に 休業補償を！



栃木県茂木町が熱烈アピール  
友好都市協定書締結へ



### 半世紀の思いを宿す 「開発センター」 町民に親しまれた名に幕。

# 朝日町議会 新体制

令和7年5月8日、第3回臨時会において、今後2年間の朝日町議会の新たな体制が決まりました。議長選挙は阿部為吉議員が8票、長岡裕二議員が3票、白票が1票。副議長選挙では細谷秀明議員が8票、石井喜久男議員が4票、よって議長に阿部為吉議員、副議長に細谷秀明議員が選出されました。その他、各常任委員会等の体制については以下のとおりです。



## ◆総務文教常任委員会

委員長：和田 一則  
副委員長：石井喜久男  
委員：長岡 裕二  
委員：阿部 正明  
委員：鈴木 義昭  
委員：細谷 秀明

### ○和田一則委員長コメント

所管課の中には課題を抱えている課もありますので、各委員と協力しながら任務を果たしていきたいと思います。



## ◆議会運営委員会

委員長：阿部 正明  
副委員長：白田 忠一  
委員：和田 一則  
委員：長岡 裕二  
委員：鈴木 光一  
※正副議長はオブザーバー

### ○阿部正明委員長コメント

役割は①議会運営に関する事項、②会議規則、委員会条例等に関する事項、③議長の諮問に関する事項であり、協議調整に努める所存です。



## ◆議会選出監査委員

### ○青木裕子監査委員コメント

今まで以上に多方面にわたって見識を広げながら、重責を全うできるよう精進してまいります。



## ◆議長・副議長

### ○阿部為吉議長コメント

再度、議長を務めさせていただくことになりました。今までのスタンスは変えず、真摯しんしに何事にも誠心誠意、頑張ります。

### ○細谷秀明副議長コメント

活力ある朝日町の実現に向け、今後着工予定の大型事業などへの対応を執行機関と一体となり、全力で頑張る所存であります。



## ◆産業厚生常任委員会

委員長：鈴木 光一

副委員長：青木 裕子

委員：柴田喜久雄

委員：白田 忠一

委員：佐竹 祐樹

委員：阿部 為吉

### ○鈴木光一委員長コメント

町の産業発展、福祉向上、安心・安全な水道水の供給を目指し、産業厚生常任委員会がワンチームとなり、取り組めます。



## ◆議会広報常任委員会

委員長：長岡 裕二

副委員長：佐竹 祐樹

委員：柴田喜久雄

委員：鈴木 義昭

委員：細谷 秀明

### ○長岡裕二委員長コメント

新体制のもと、町民に寄り添う議会広報を目指し、努めてまいります。

## ★その他の役職

○西村山広域行政事務組合議会議員

阿部 為吉 白田 忠一 青木 裕子

# 空気に感謝する議会 開会



朝日町では、6月定例会を「空気の日記念『空気に感謝する議会』」<sup>しょう</sup>と称して開催しています。平成4年3月、世界環境デーである6月5日を「朝日町空気の日」として、条例を制定しました。本会議では、ブナの幼木<sup>ようぼく</sup>を各議員の机の上に置き、開会前に空気に感謝する姿勢を表現しました。この議会を、朝日町民のみならず、世界中の人々が「生物にとって、なくてはならない空気」に感謝する心を育むための一つの契機<sup>けいき</sup>としています。

## 令和7年6月定例会

### あなたの暮らしに関わる条例・予算どう変わった？

令和7年度一般会計補正予算（第2号） ..... **可決**

歳入歳出それぞれ9,530万円を増額し、総額を68億920万円とするもの。

○主な内容

- ①価格高騰緊急支援・不足額給付 ..... 4,110万円  
 …定額減税補足給付金において、令和6年度分所得税および実績等が確定し、本来給付すべき所要額に差額が生じたため、追加で該当納税者に不足分を給付するもの。
- ②あさひ保育園エコキュート更新 ..... 500万円  
 …あさひ保育園のエコキュート給湯設備が故障したため、設備を更新するもの。
- ③ゼロカーボンシティ実現に向けた業務委託費 ..... 410万円  
 …朝日町ゼロカーボンシティ実現に向けた取組みを推進するため、業務委託料を計上するもの。
- ④認定新規就農者への支援 ..... 312万円  
 …新規就農者育成総合対策事業により、認定新規就農者の農機具購入について補助金の交付が決定したため増額するもの。
- ⑤有害鳥獣被害対策推進事業（電気柵の導入補助） ..... 100万円  
 …電気柵導入希望数の増加により、補助金を拡充させるもの。
- ⑥Asahi自然観ゲレンデの災害復旧 ..... 300万円  
 …融雪災害により一部崩落したAsahi自然観ゲレンデの復旧工事を行うもの。
- ⑦りんご温泉設備の改修等 ..... 520万円  
 …りんご温泉送湯管更新工事に300万円、温泉脱衣所へのエアコン設置工事に220万円を計上するもの。
- ⑧旧大沼分校グラウンドの災害対策 ..... 240万円  
 …旧大沼分校グラウンドの崩落災害対策工事を実施するもの。
- ⑨町道立木ブナ峠線災害復旧に向けた調査設計 ..... 5,000万円  
 …町道立木ブナ峠線の融雪災害復旧にかかる測量業務を委託するもの。

6月定例議会  
補正予算・議案質疑

総務文教分野

所管

- 総務課
- 政策推進課
- 税務町民課
- 教育文化課

友好都市協定書の  
締結について

**白田議員** 今回、当町と栃木県茂木町は友好都市協定を締結し、交流を通じて両町のさらなる発展を進めるとあるが、その内容は。

**町長** 両町はお互いの町の魅力を共有し、産業振興・観光振興などの幅広い分野における交流を通じ、共に発展していくことを目的としています。

ゼロカーボンシティ  
実現に向けて

**和田議員** グリーン専門人材への業務委託の内容は。

**危機管理対策室長** 主な業務内容は、脱炭素に関することです。

**阿部正明議員** 地域活性化企業人制度ではなく、グリーン専門人材制度を選択した理由は。

**危機管理対策室長** 地域活性化企業人制度は、三大都市圏企業の社員を受け入れることが条件です。今回グリーン専門人材制度でマッチングした株式会社アール・エ北陸の所在地は富山県であるため、その条件を満たさず、財源は環境省の補助金を活用し、事業を進めてまいります。

中学生海外研修事業  
委託について

**鈴木義昭議員** 中学生の海外研修事業だが、アメリカの一部の州で不穏な動きがある。派遣中止などの判断もあるのか。

**教育長** 委託業者から派遣先の状況などを聞きながら、子どもたちの安全を第一に考え、速やかに判断してまいります。



ホストファミリーとの楽しいひととき

消防施設費について

**白田議員** 備品購入費は何を購入するのか。

**危機管理対策室長** 総務省消防庁から貸与される消防ポンプ車に、機関員用のハンディー無線機を配備するものです。

産業厚生分野

所管

- 健康福祉課
- 農林振興課
- 総合産業課
- 建設水道課
- 町立病院

あさひ保育園  
給湯設備の故障

**青木議員** 500万円の工事費は設備更新のためのものだが、故障の原因は。また、給湯設備の更新箇所は。

**健康福祉課長** あさひ保

育園開園時から使用しているエコキュートが、老朽化により故障したための更新です。調理室で使用しているもので、他の水道設備には問題ありません。

多面的機能支払交付金  
事業について

**鈴木義昭議員** 多面的機能支払交付金360万円増の理由と、長寿命化に取り組む団体数は。

**農林振興課長** 第3期目に取り組む団体は17団体（内新規は1団体）で、面積が15ha増えるためです。長寿命化に取り組む団体は、14団体で同じです。

## 新規就農者 育成総合対策とは

**阿部正明議員** 新規就農者への機械や施設などの導入支援だが、具体的な内容と就農者へのサポート体制の現状は。

**農林振興課長** 2名が申請しており、支援の上限額は1千万円です。費用の負担割合は、国が2分の1、県が4分の1、申請者本人が4分の1となっております。乗用草刈り機や高所作業機で申請しています。また、一例としては、りんごの郷協議会での移住相談や研修、樹園地継承などのサポートを行っています。

## 県の農薬散布機更新 助成の申請について

**柴田議員** 本補正にはないが、スピードスプレーヤーに対し県9分の2、市町村9分の1の負担で助成する事業が、県の当初予算1億円を超えさらなる対策を検討すると報道された。

町内でこの助成金の申請者はいるのか。また、町の農機具補助基準を見直す考えはあるか。

**農林振興課長** 町内から数名の申請があります。また、町の農機具補助基準についても社会情勢を見ながら見直しを考えていきたいと思っています。



高額なスピードスプレーヤーに助成申請が殺到

## 有害鳥獣被害対策 について

**細谷議員** 有害鳥獣被害対策推進事業として、100万円の補正額が計上されている。要因をどのよ

うに分析しているのか。

**農林振興課長** イノシシなどによる農作物被害に対して耕作者の意識が高まっており、効果の高い電気柵購入などへの申し込みが増大しているものと見ています。



鳥獣被害防止に効果絶大な電子柵

## りんご温泉改修の 状況は

**石井議員** 町民の皆さんが待ち望んでいる宴会場の業務開始はいつなのか。料理のコースなどはどのよう

に考えているか。  
**総合産業課長** 宴会場のオープンは9月11日を予

定しており、予約は6月23日より受付開始となります。メニューなどはAsahi自然観と同等と考えておりま

## りんご温泉 送湯管更新

**長岡議員** りんご温泉の送湯管の交換時期が予定より早まっているようだが、現在の温泉の状況はどうなっているのか。

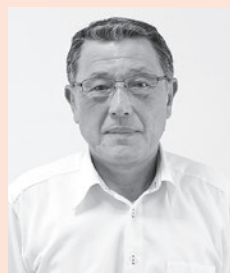
**総合産業課長** 温泉の水質が珍しい「モール泉」であるため、配管にスケールが付着しやすくなっています。現在、これが2つ目の源泉であり、温泉の寿命も考慮しなければなりません。将来的には新しい掘削を検討する必要があります。

# 人事案件

## 議第35号

### 朝日町固定資産評価審査委員会の委員の選任について

ながおかのりお  
現朝日町固定資産評価審査委員会委員の長岡憲夫氏（常盤）は、令和7年6月21日をもって任期満了となるため、再度選任することについて全会一致で同意しました。



ながおかのりお  
長岡 憲夫 氏

請願  
第1号

# 水害対策のため和合堰路拡張整備と 町道ヒューム管拡幅についての請願書

## 災害対策強化へ 願意妥当として採択!!

### 〈請願趣旨〉

本堰は、これまで和合堰路水利組合、大隅区が維持管理を行ってきております。本堰は、根合田山西北斜面の水、桜堤を經由した和合堰の水が集まり、最上川にそそぐ流れになっています。以前は、最上川付近の田畑の用水路の役目を担っておりました。

令和3年7月豪雨では、山神神社付近で氾濫が発生し、付近の家屋、田畑に損害を与えました。排水溝としての役目を果たすことができなかったのです。この氾濫の要因の一つが、既存の側溝の大きさです。側溝を拡張し、町道ヒューム管を拡幅することで、集まった水が排水できるようにする必要があります。

近年多発するゲリラ豪雨に対して大隅区民一同は、区内の一部地域において水害が発生しやすい状況に強い不安を抱いております。特に大隅山神社周辺においては、町道に設置されているヒューム管の口径が小さく、豪雨の際には排水が追いつかず、道路冠水や住宅地への浸水被害が発生しております。このような状況は、住民の安全な生活を脅かすものであり、早急な対策が必要です。

### 記

本堰の拡張と大隅地区大字和合元大隅前原15-2、16-2の間及び大字和合字前原2671の町道に設置されている排水用ヒューム管について適切な排水能力を確保するための拡張工事を実施されること。

以上、地方自治法124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。大隅区民の安心・安全な生活の確保のため、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。

令和7年5月20日

〈請願者〉 朝日町大字和合932-4  
和合堰路水利組合  
組合長 鈴木 勝治

〈紹介議員〉 和田一則・長岡裕二



早急な対応が望まれる和合堰路拡張整備

# ピックアップ議案

友好都市協定書

栃木県茂木町と山形県朝日町は、これまで道の駅を通じて産業、観光において相互に交流を深め、信頼関係を築いてきました。そこで、両町は、お互いの町の魅力を共有し、以下に掲げる幅広い分野における交流を通じ、共に発展することを目的として、両町の交流が末永く続けられるよう、友好都市協定を締結します。

- 一 町民間の相互交流
- 一 産業振興・観光振興に関する相互協力
- 一 教育、スポーツ、文化芸術に関する相互交流
- 一 災害時の相互応援
- 一 その他友好関係発展のための相互交流

## 議第37号 栃木県茂木町との友好都市協定締結について

お互いの町の魅力を共有し、幅広い分野における交流、並びに非常災害時における応援協力を通じて、両町のさらなる発展と活性化につなげるため友好都市協定を締結する。

両町交流のきっかけは、令和5年に栃木県茂木町の古口町長が有限会社朝日町ワインと道の駅あさひまち「りんごの森」を訪れた際、当町のワインとりんごのおいしさに感銘を受け、茂木町の道の駅でスポット販売を行った。その後、茂木町のイチゴを当町の道の駅で販売するなど、道の駅を通じた農産物の相互交流を行っている。

## 議第38号 開発センターの廃止



開発センターの機能を役場庁舎に統合し、「開発センター」を廃止。

## 議第41号 「朝日自然観コテージ村」整備事業管理棟新築工事



コテージ村がさらに快適に。管理棟も新たな姿に。

# 令和7年6月定例会議案採決一覽

番号	件名	審議結果	青木	和田	柴田	長岡	阿部正明	鈴木義昭	白田	石井	鈴木光一	細谷	佐竹
議第35号	朝日町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	令和7年度朝日町一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第37号	栃木県茂木町との友好都市協定の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	朝日町開発センター設置条例を廃止する条例の設定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	朝日町役場庁舎会議室等の使用に関する条例の設定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第40号	朝日町水道事業敷設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号	令和7年度「朝日自然観コテージ村」整備事業管理棟新築工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※阿部為吉議員は議長のため採決には参加しません。

# 現場視察



町道立木ブナ峠線崩落現場

## 町道立木ブナ峠線崩落

町道立木ブナ峠線は、朝日鉱泉から大江町古寺・柳川、西川町大井沢方面へ通じる観光上重要な道路で、延長 3,930m、全幅 7.4m の舗装道路です。

今回、約 80m にわたって道路が崩落し、最大 10m の高さには達しています。現在、復旧を前提に測量調査を進めており、進捗はおよそ 5 割です。今後は、費用を抑えた工法を検討し、公共災害制度を活用して復

旧を図る予定です。なお、申請にあたっては、7 月末までに査定金額の報告が必要であり、8 月末に災害査定が行われる見込みです。そのため、6 月定例会で補正予算を上程しました。

## Asahi自然観ゲレンデリフトの廃止を検討

ハートピアリフトおよびエアートップリフトは、平成 31 年に策定された中長期運営計画に基づき、廃止の方向で検討が進められてきました。老朽化による大規模な修繕が必要になったことや、令和 7 年 4 月に発生したハートピアゲレンデの大規模崩落を受け、令和 6 年度をもって廃止する方針です。ゲレンデ復旧には約 5,000 万円の恒久対策が必要で、財政負担が大きいこと、両リフトの稼働率が 3 割程度と低いこと、また従業員の確保が困難であることも廃止の理由です。今後の運営は、残る 2 基のリフトに機能を集約する「2 基廃止型（ユーユー・ファンタジーリフトのみの運営）」が最も現実的な対応策と判断しています。



土砂崩れが起きたハートピアゲレンデ

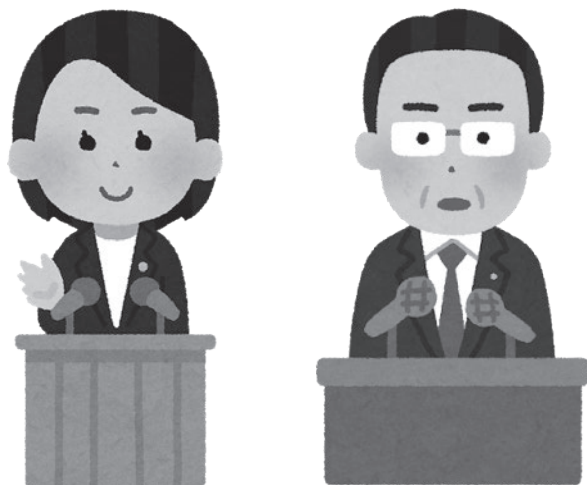
## 林道暖日山線融雪災害

融雪の影響により、林道の一部で新たな被害が発生しており、現在は町単独の災害復旧事業などを活用し、迅速に対応しています。また、昨年 9 月の大雨により被災した林道暖日山線については、今冬の豪雪の影響でさらに被害が拡大し、昨年度に策定した復旧工法では対応が困難な状況となっています。このため、現地の状況を精査し、改めて調査・設計を進めているところです。今後も自然の厳しい状況に対して、柔軟かつ的確に対応し、万全な復旧を図る予定です。



林道暖日山線融雪災害現場





# 町政に問う 一般質問



## ◆一般質問とは

議員による町民のための施策提言の場。その実現に向けた方策を、町長・執行部側と真剣に質疑・答弁を介して政策議論します。

お持ちのスマートフォンやタブレットから二次元バーコードを読み込むと、各議員の質問を動画でご視聴いただけます。

1	白田 忠一	朝日町消防団の現状と課題について		P 11
2	和田 一則	国保加入者に休業補償を		P 11
3	佐竹 祐樹	現在の交通手段・移動方法について		P 12
4	青木 裕子	ファミリーサポートセンター事業、町独自の拡充支援は		P 12

# 消防団の現状と課題について

**町長** 消防団員を長く続けられるように進めていく



【質問】 消防団は地域に密着した組織であるため、地域住民の安心・安全を守る上で重要な役割を担っている。団員の確保の現状と、今後の取り組みは。

【町長】 機能別消防団員は、一般団員の不足を補い消防力の低下を防止することを目的として、平成22年より導入しております。現在51名の登録をいただいております。

【町長】 地区区長のご協力をいただき、対象となる方への声がけを行っております。就労形態の多様化や少子化の影響もあり、確保が非常に困難となっております。

引き続き各地区と連携を強化しながら団員の確保に取り組み、団員を長く続けられるように、そして活動しやすい環境の整備を進めてまいります。

【質問】 機能別消防団

員を増やす考えはないか。

【町長】 機能別消防団員は、一般団員の不足を補い消防力の低下を防止することを目的として、平成22年より導入しております。現在51名の登録をいただいております。

統廃合を含む再編の取り組みは。

【町長】 人口減少や消防団員を取り巻く環境などさまざまな要因が変わっているため、慎重に進めていく必要があります。



町民から頼られる消防団

【質問】 各部の

重要な制度であることから、今後とも各部への制度周知を図り、増員につなげてまいります。

# 国保加入者に休業補償を

**町長** 現状では行う考えはない



【質問】 現在の国民健康保険給付の中には実施が義務付けられていない、任意給付がある。また、任意給付を実施するかや、実施する場合の給付内容は保険者で決定できるとなっている。具体的任意給付の内容は、傷病給付金の支給・出産手当金の支給である。国民健康保険基金1億9100万円を財源に条例を制定し、こうした休業補償を行う考えは。

【町長】 現在、県内で任意給付（休業補償）を実施している市町村がないこともあり、現状では行う考えはありません。

市町村単位の国民健康保険は現在、都道府県単位で保険料水準の統一が進められていますが、完全統一の目標とされる令和15年度までに10年を切る状況の中で、町が独自に任意給付を実施しても、統一後に継続できる保証はありません。10年未満で廃止となれば、一時的な対応となり公平性を欠いてしまうため、慎重な判断が必要と考えます。



◎ 神奈川県建設連合国民健康保険組合 国保だより vol.153

# シニアカーなどの購入に補助を

**町長** 介護保険サービス以外で補助はしていない



きたけ ゆうき 議員

【質問】 今後、町としては移動交通手段はどのような形になっていくと考えているか。

【町長】 全国的に公共交通を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあります。町としては、利用者の減少など厳しい状況ではありますが、民間事業者による路線を含めて現在の公共交通の体系を維持しつつ、アンテナを高く持ち他の地域の先進的な事例にも注目し、利便性の高い交通の在り方を模索していく考えです。

なっているのか。

【町長】 一回限りの支援となっております。この事業は、高齢の運転者が免許を返納しやすい環境づくりと、高齢ドライバーによる交通事故の防止を目的としているものです。

【質問】 免許返納者に対して、シニアカーな

どの購入に補助する考えは。

【町長】 朝日町では、介護保険サービス以外でシニアカーなどの購入に対する補助はありません。利用者の安全と安心を最優先に考える必要があります。町としての補助は実施しておりません。



シニアカーイメージ

# ファミサポ研修受講に謝礼を

**町長** きちんとした対応が肝要



あおき ゆうこ 議員

【質問】 平成31年には40名いた登録会員が、現在は13名。提供会員数が少ないと、依頼会員とのマッチングや調整が難しくなり、さらに会員数が減るといった負のスパイラルに陥っている。また、登録者が20人に満たない場合は、国の補助対象に該当しない。会員増員に向けて、ここ数年でどのような工夫をし、取り組んだのか。

【健康福祉課長】 令和に入ってから、それほど周知方法に変化はありませんが、各種健診や訪問時に、保健師や助産師から紹介していただくよう工夫をしてきました。

【質問】 提供会員の方には、子どもの命を守るといふ観点から、各種講習を受講していただいている。その時間は無償での参加だが、いかがなものか。

【町長】 おっしゃるとおり、今後はきちんとしていくことが肝要だと思います。

【質問】 利便性の向上を図るために、導入を検討したものは。

【町長】 WEBでの申し込み対応などを検討し

ましたが、実際の活動状況を把握するには、直接の聞き取りが重要だと判断し、現在の体制を継続することとしました。



ファミサポ事務局の子育て支援センターあさひ

# 議員表彰

## 村山地方町村議会議長会表彰 (議員勤続9年以上)

石井喜久男議員と細谷秀明議員が、議員勤続9年以上の功績に対して、村山地方町村議会議長会より表彰されました。



〈受賞コメント〉石井喜久男 議員

このたび、村山地方町村議会議長会より表彰されました。誠にありがとうございます。今後も議員職責である政策の決定と行財政運営に努めてまいります。



〈受賞コメント〉細谷秀明 議員

この名誉ある賞を賜り深く感謝申し上げます。今後も初心を忘れず誠実に職務を全うし、町民の皆さまのために尽力してまいります。

## 町議員研修として 地域おこし協力隊との情報交換会を実施

### 1. 日程

令和7年6月27日（金） 午後4時30分～

### 2. 研修内容

- ・ 地域おこし協力隊制度と当町の協力隊活動について
- ・ 地域おこし協力隊との意見交換会



### 3. 出席者

朝日町議会議員12名  
朝日町地域おこし協力隊12名  
議会事務局、政策推進課担当職員



現在、町で任命している地域おこし協力隊の隊員は12名に達しており、その任務は「にぎわい創出」「つながり創出」「デジタルサポート」「大谷地区まちづくり」「りんごの郷の担い手」「インバウンド推進」「地域スポーツ文化活動推進」など、多岐にわたっています。

過去最高の隊員数になっており、お互いの名前と顔が一致せず戸惑う場面も多々ありましたので、今回初の試みとして実施しました。当日は、自己紹介に始まり意見交換や名刺交換などを行い、有意義な情報交換会となりました。

# 二町村が、当町へ視察に来町

## 群馬県昭和村 議会広報編集特別委員会

### 1. 日程

令和7年7月1日（火）  
午後1時30分～3時

### 2. 視察内容

議会広報紙の編集、作成方法について

### 3. 朝日町議会出席者

阿部為吉 議長、細谷秀明 副議長  
(議会広報常任委員会)  
長岡裕二 委員長、佐竹祐樹 副委員長、  
柴田喜久雄 委員、鈴木義昭 委員

### 4. 研修内容

事前の質問事項についての長岡委員長からの回答にはじまり、活発な質疑応答や意見交換が行われ、両町村において意義深い視察研修会となりました。



## 岩手県平泉町 総務教民常任委員会

### 1. 日程

令和7年7月3日（木）  
午後1時30分～3時

### 2. 視察内容

- ・移住施策の効果について
- ・結婚支援制度について
- ・空き家の現状と活用への支援策について

### 3. 朝日町議会出席者

阿部為吉 議長、  
和田一則 総務文教常任委員会委員長

### 4. 研修内容

当日は鈴木浩幸町長、阿部為吉議長の歓迎のあいさつの後、平泉町の升沢博子総務教民常任委員長よりごあいさつをいただき、質疑応答に入りました。平泉町は人口規模・主産業で当町と似たようなところがあり、有意義な質疑、意見交換が行われました。



# 令和6年度 政務活動費収支報告

朝日町議会では、令和5年度から年額上限12万円の交付額となっており、その用途についても領収書と報告書の提出を義務付け、議長の厳しい審査を経なければなりません。

これからも町の公式ホームページや議会だよりにおいて報告することにより、町民の皆さまにご理解いただけるよう「見える化」に努めてまいります。



▲詳細はこちらから  
ご覧いただけます。

## 令和6年度 政務活動費支給状況（実績）

（単位/円）

番号	氏名	使途（経費項目別）					支給額
		調査研究費	研修費	要請陳情等活動費	資料購入費	報告額合計	
1	和田 一 則	131,068				131,068	120,000
2	鈴木 義 昭	93,800	30,000			123,800	120,000
3	鈴木 光 一	96,488				96,488	96,488
4	白 田 忠 一	96,488	15,000	34,050		145,538	120,000
5	阿 部 正 明	97,545		61,428		158,973	120,000
6	長 岡 裕 二	93,800	30,000			123,800	120,000
7	青 木 裕 子	96,488			9,898	106,386	106,386
8	柴 田 喜久雄	93,800	30,000			123,800	120,000
9	細 谷 秀 明	96,488				96,488	96,488
10	石 井 喜久男	93,800	30,000			123,800	120,000
11	佐 竹 祐 樹	93,800	30,000			123,800	120,000
12	阿 部 為 吉	96,488				96,488	96,488

※議席は令和7年3月31日時点のものです。

### 今後の の 予定

7月15日（火） 第42回町村議会広報研修会

7月23日（水） 朝日町国県道整備促進同盟会総会

7月27日（日） 大沼の浮島島まつり・名勝指定100周年記念式典

8月20日（水） 一般質問締切

8月26日（火） 議会運営委員会

9月 3日（水） 令和7年朝日町議会9月定例会 開会  
 ~12日（金） 令和7年朝日町議会9月定例会 閉会

# 地域を見つめる リーダーたちの提言

助ノ巻区長  
とがし かずゆき  
富樫 一幸さん



皆さんの地域の区長さんから、  
町発展に向けた貴重なご意見を伺います。

## 提言 1

義務教育学校「あさひ未来学園」の開校が1年延びて、令和11年4月になるとお聞きしました。現在も資材の高騰や働き方改革が進み、人手不足などもあって工事の遅れは一般的にあり得る問題です。しかし朝日町の未来を担う子どもたちのためにも、再度延長のないように令和11年開校をお願いしたいと思います。

## 提言 2

朝日町は宿泊施設が少なく、旅行や帰省した際に町外のホテルに宿泊する方が多いとお聞きします。そんな中で、Asahi 自然観のホテルが廃止になったことは残念に思います。町では今後、自然観のコテージを日本一のコテージ村に整備していくという計画ですが、具体的な日本一像をぜひ町民へ広く周知していただきたいです。リピーターが増えるコテージになるよう期待しています。

## 提言 3

朝日町は高齢者世帯が多いので、冬期間の除雪や雪下ろしをしなくても済むような高齢者向けのアパートのようなものがあるのもいいのではないかと思います。議員の皆さんには、さまざまな課題が山積する中ですが、なお一層の活躍を期待しています。

次の定例会は **9月3日(水)** 開会予定です。

パソコンやスマートフォン等で、  
議会中継をご覧くださいませ。  
録画でもご覧くださいませ。



山形県朝日町議会

検索

議会だより取材のため腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

● **ご意見・ご感想は議会事務局まで** ●

tel:0237-67-3306 fax:0237-67-2117  
mail:gikai@town.asahi.yamagata.jp

編集後記

このたび、久方ぶりに議会広報常任委員長を拝命しました。初心に立ち返り、これまで培われてきた編集方針を大切にしながら、今の時代にあふさわしい新たな感覚も積極的に取り入れてまいります。  
その第一歩として、今号では表紙に一工夫を加え、「週刊誌風」という少し大胆なスタイルに挑戦しました。議会をより身近に感じていただけるきっかけとなれば幸いです。  
これからも「読みやすく」「伝わりやすく」、そして議会の「今」がしっかりと伝わる紙面づくりに励んでまいります。ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

委員長 長岡裕二

【発行責任者】

議長 阿部 為吉

【議会広報常任委員会】

委員長 長岡 裕二

副委員長 佐竹 祐樹

委員 柴田喜久雄

委員 鈴木 義昭

委員 細谷 秀明